

山中常盤 牛若丸と常盤御前 母と子の物語 (2004)

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 100分

初公開日 2005/04/23

公開情報 自由工房

映倫 PG-12

【解説】

源義経とその母、常盤御前の非業の運命を描き庶民の人気を博した浄瑠璃を基に、江戸初期に活躍した絵師、岩佐又兵衛が描いた『絵巻 山中常盤』。本作は、その全12巻におよぶ絵巻の全貌を、文楽の鶴澤清治の手による新たな浄瑠璃の曲とともに記録した異色ドキュメンタリー。監督は記録映画界の第一人者、羽田澄子。

鞍馬山での修業を終え、平家討伐へと向かった源義経。その知らせを聞いた母、常盤御前は、我が子の姿を一目見ようと都を旅立つが、山中の宿で盗賊に襲われ非業の死を遂げる。都に向かう途中、偶然にも母の死を知った義経は、憎き盗賊への復讐を誓い、みごと敵討ちを果たす。岩佐又兵衛の作といわれる『絵巻 山中常盤』は、この有名な“義経伝説”を材にした全12巻、全長150メートルにおよぶ極彩色の長大な絵巻物。羽田監督はそんな絵巻の世界を鮮やかかつエキサイティングに映し出すとともに、幼くして母親を含む一族を織田信長により皆殺しにされた作者又兵衛が絵巻に込めた想いをも汲み取っていく。

【クレジット】

監督	羽田澄子
撮影	若林洋光 宗田喜久松
作曲	鶴澤清治
録音	滝澤修
照明	中元文孝
ナレーション	喜多道枝
出演	片岡京子